

2023年1月27日

各 位

会社名 兼 松 株 式 会 社
代表者名 代表取締役社長 宮部 佳也
(コード番号 8020 東証プライム)
問合せ先 広報・IR室長 坂本 和美
(電話番号 03-6747-5000)

当社グループ一体経営の実現に向けて

- ー 上場連結子会社（兼松エレクトロニクス株式会社及び兼松サステック株式会社）
に対する完全子会社化を目的とする公開買付けについて ー

兼松株式会社（以下「当社」といいます。）は、本日開催の取締役会において、上場連結子会社である、兼松エレクトロニクス株式会社（以下「兼松エレクトロニクス」といいます。）（株式会社東京証券取引所（以下「東京証券取引所」といいます。）プライム市場、証券コード：8096）及び兼松サステック株式会社（以下「兼松サステック」といいます。また、以下総称して「対象会社」といいます。）（東京証券取引所スタンダード市場、証券コード：7961）を完全子会社化することを目的として、対象会社の普通株式を金融商品取引法（昭和23年法律第25号。その後の改正を含みます。）に基づく公開買付け（以下、各対象会社に対する公開買付けを総称して「本公開買付け」といいます。）により取得することを決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社は、6ヵ年（2018年4月～2024年3月）の中期ビジョン「future 135」において、「グループを挙げたデジタルトランスフォーメーション（以下「DX」といいます。）推進」を重点施策として掲げております。安定的で持続可能なサプライチェーンの構築に努めると共に、脱炭素社会に向けて「グリーントランスフォーメーション（以下「GX」といいます。）」に関する積極的な取組みも推進しております。こうした取組みについては、当社グループの企業価値の最大化に向けて、2024年4月に開始される予定の新中期経営計画においても、引き続き重点施策の一つとして位置付ける方針です。また、DX及びGX等の取組みを推し進めていくうえでは、DXの分野では豊富なICT・デジタル知見並びにデジタル人材を有する兼松エレクトロニクスと、GXの分野では脱炭素に資する技術・工法を有する兼松サステックと当社との間における連携を加速させ、新中期経営計画における経営戦略を機動的に実行できるよう、当社と対象会社との一体運営を強化することが必要不可欠であると考えております。そのためには、対象会社との資本関係をより強固なものとし、また親子上場に伴う当社と対象会社の少数株主との間における利益相反の問題を解消しつつ、当社グループが有する情報・ノウハウ、人材、営業基盤、資金などの必要な経営資源を機動的に相互活用し、グループ間シナジーをより一層発揮できる体制を整備する必要があると認識しております。

そのような認識のもと、本公開買付けは、いずれも、新中期経営計画の開始を見据えた最適のタイミングでグループ一体経営の実現を図るものであり、経営資源の制限のない相互活用や意思決定の迅速化を通じて、DX及びGXの推進を一層加速させることで、当社グループのさらなる企業価値の向上に資するものであると考えております。

今後も、当社グループ内での経営資源の最適配分やそれに向けた最適な経営体制の構築を一層推し進め、中長期的な視点での当社グループの競争力強化、持続的な成長、及び企業価値の最大化を図ってまいります。

なお、本公開買付けの詳細につきましては、別途公表しております「兼松エレクトロニクス株式会社株式（証券コード 8096）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」及び「兼松サステック株式会社株式（証券コード 7961）に対する公開買付けの開始に関するお知らせ」をご参照ください。

以 上